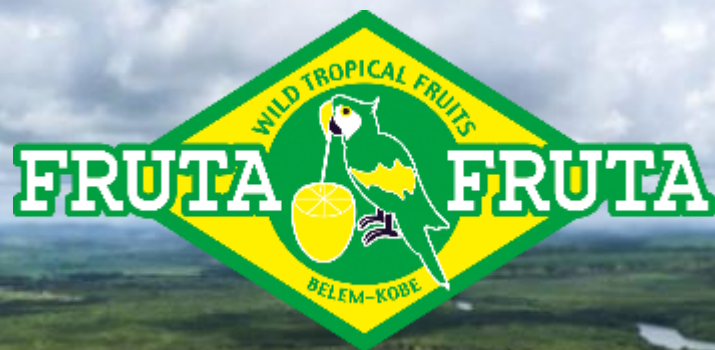




2026年3月期 第2四半期決算補足説明資料

株式会社フルッタフルッタ（証券コード:2586）

2025年11月13日



Our Philosophy

自然と共に生きる

フルッタフルッタが目指すのは、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現です。アグロフォレストリーはそのソリューションの一つであり、私たちはその恵みであるアマゾンフルーツを革新的な商品にかえてお届けし、アグロフォレストリーの発展に貢献するとともに、お客様に本物の美と健康をご提供してまいります。

Our Purpose

自然資本主義

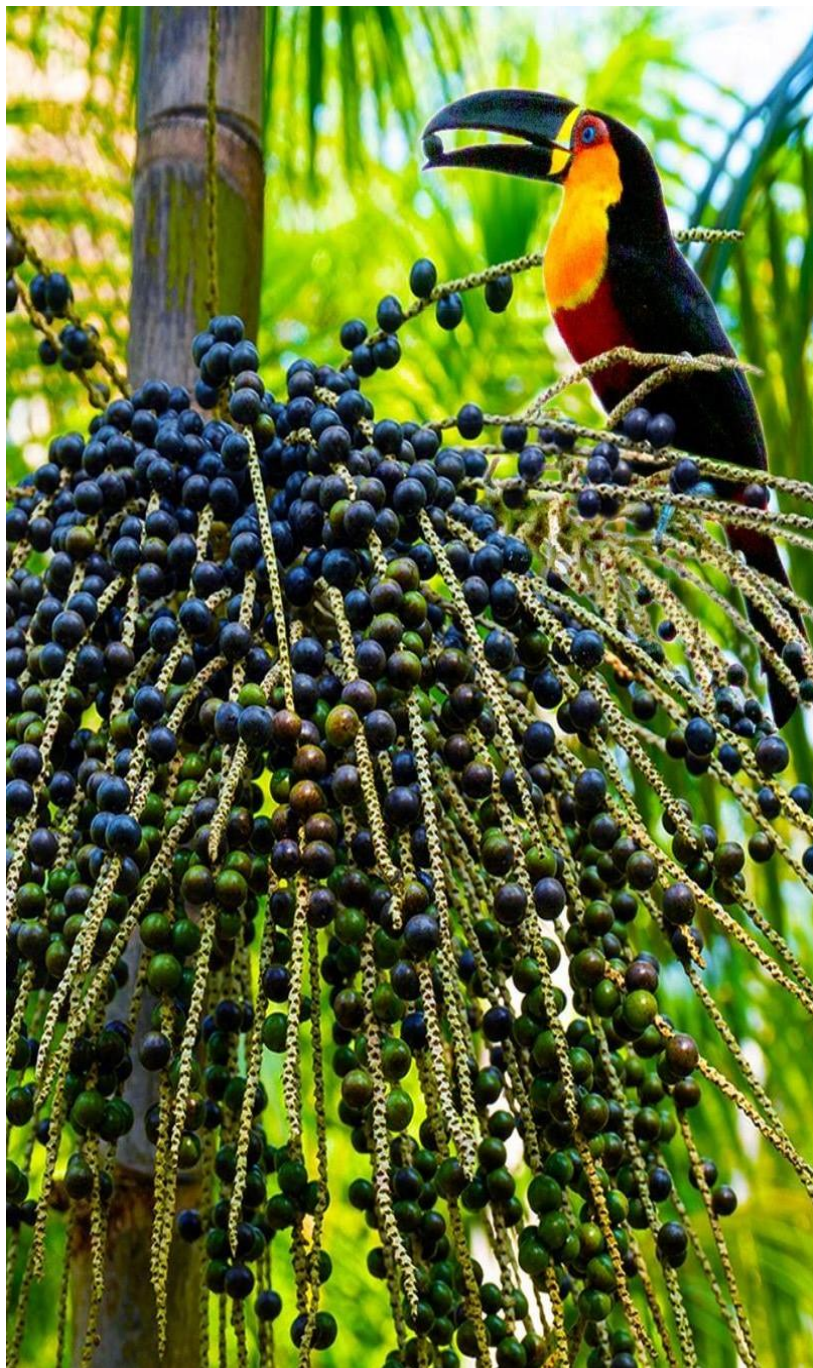
ブラジル・アマゾンに渡った日本人移民が創立したトメアス総合農業協同組合(CAMTA)と出会い、彼らが確立した栽培手法である「トメアス式アグロフォレストリー」(混農林法)に当社の長澤が共鳴したことが創業のきっかけです。

アグロフォレストリーの拡大を促し、荒廃地を緑に変えていきたい。森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現を目指します。



アグロフォレストリーは 『生物多様性』と『CO₂削減』を両立する ソリューション

「ネイチャーポジティブ」は、企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑え「生物の多様性を維持する」という従来の発想から大きく踏み込んで、「生物多様性を含めた自然資本を回復させる」ことを目指す新たな概念であり、近年、企業経営において重要性を増しています。



CONTENTS

P05-10

01 第2四半期決算ハイライト

P11-17

02 主なTOPICS

P18-23

03 今後の見通し

P24-27

04 中長期的な取組みの進捗

P28-30

05 サステナビリティの取組み



01

第2四半期決算ハイライト

売上高は前年同期比183.0%となり、営業利益以下の各利益も大きく伸長し、引き続き増収増益となりました。

売上高

2,058 百万円

前年
同期比 183.0 %

営業利益

254 百万円

前年
同期比 274.6 %

経常利益

242 百万円

前年
同期比 265.7 %

当期純利益

204 百万円

前年
同期比 277.3 %

－ ポイント

- ① リテール事業、業務用事業、ダイレクトマーケティング事業のいずれの部門も引き続き売上高伸長。
- ② 大手外食企業でメニューコラボの引き合いが増加。定番メニュー化と原料採用が進む。
- ③ ヨーグルト×アサイーの提案キャンペーンにて露出を促進した結果、当社商品を導入する店舗が増加。

主にアサイー関連商品が引き続き好調であり、大手外食企業での原料採用及びリテールでの導入店舗拡大が進んだことが大きく貢献いたしました。販売費一般管理費も売上高増加に比例して増加したものの、引き続き一定の率内に留めています。

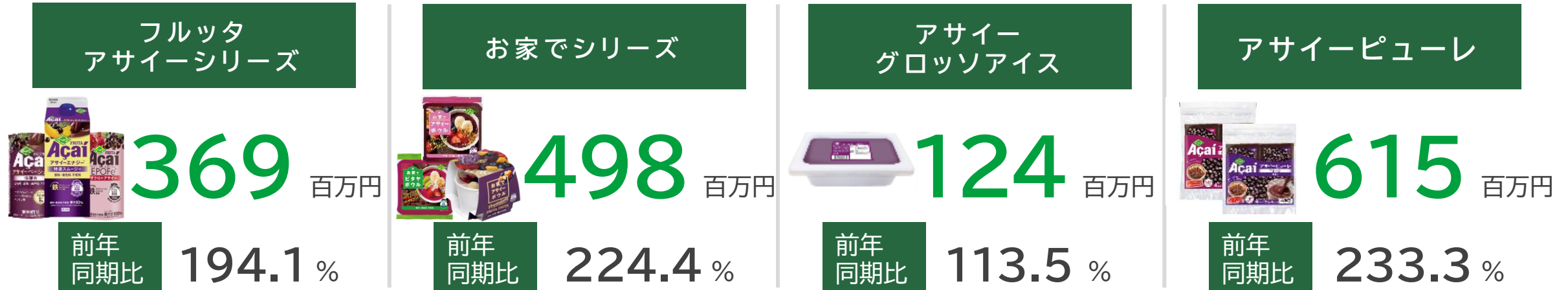
	2025年3月期 第2Q		2026年3月期 第2Q		対前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	1,125	100.0%	2,058	100.0%	+933	83.0%
売上総利益	397	33.7%	837	40.7%	+440	110.9%
販売費及び一般管理費	329	29.2%	582	28.3%	+253	77.1%
営業利益	67	6.0%	254	12.4%	+186	174.6%
経常利益	66	5.9%	242	11.6%	+175	165.7%
中間純利益	54	4.8%	204	9.9%	+150	177.3%



リテール、業務用、ダイレクトマーケティングのいずれの事業部門も伸長しました。
アサイーが定着化が進む市場へ、販売拡大に向けたプロモーションを展開してまいりました。

(百万円)	2025年3月期 第2Q実績	2026年3月期 第2Q実績	前年同期比 (増減額)	
売上高	1,125	2,058	183.0% (+933)	
リテール	470	990	210.4% (+519)	- アサイー×ヨーグルトの組み合わせを推進。手軽さや健康美容への関心から日常定着化をさらに加速 - お家でアサイーボウルSを販売開始。「#おうちでアサイーボウルしよう」をテーマに施策を展開
業務用	494	852	272.4% (+357)	- 大手カフェチェーンやレストランチェーンに引き合いが増加し採用決定 - CO₂削減に対する意識の高まりから、メーカー原料の売上も拡大
DM	156	215	137.9% (+59)	
海外	3	—	—% (Δ3)	「お家でアサイーボウル7パック」「冷凍アサイーピューレ」が売上高を牽引 - ライブコマース、自動販売機でさらに売上増加の見込み

主要4カテゴリはいずれも前年同期比で引き続き伸長いたしました。当社のアサイーが高品質・高濃度であることや、「責任ある調達(サステナブル調達)」に対応した付加価値型原料であることを武器としてさらに拡大を行ってまいります。



－ ポイント

- ① 「アサイー」「アサイーボウル」への注目は依然として衰えず、日常へ浸透し定着化したとみられる。
- ② 「ギルトフリー」「ノーギルティ」というコンセプトの健康志向とストレスフリーな食事にアプローチ。「#おうちでアサイーボウルしよう」をテーマにアサイー×ヨーグルトをキャンペーン展開。
- ③ 無人店舗としての役割を担う自動販売機やSNSを活用したライブコマース施策で拡大を狙う。



第12回新株予約権の権利行使が進んだことで「現金及び預金」、「資本金」及び「資本準備金」が増加しております。
この結果、総資産が1,981百万円増加し、自己資本比率は90.4%と7.2pt増加いたしました。

(百万円)	2025年3月末	2025年9月末	増減額	主な理由
流動資産	3,404	5,312	+1,907	現金及び預金、売上債権及び棚卸資産の増加
現金及び預金	1,886	3,135	+1,248	第12回新株予約権の権利行使による増加
固定資産	143	144	+1	
総資産	3,547	5,456	+1,908	
流動負債	588	519	△72	原料調達および商品製造のために発生した仕入債務の減少
固定負債	3	3	0	
純資産	2,955	4,936	+1,981	第12回新株予約権の権利行使による資本金及び資本準備金の増加
自己資本比率	83.2%	90.4%	+7.2pt	



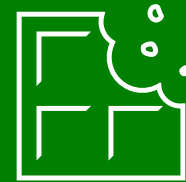
自宅で健康的な食事やライフスタイルを取り入れる傾向が加速した。

手軽に調理できるアサイーボウルなどがその代表例。

このトレンドはアサイーの家庭内消費を日常的なものへと変容させている。



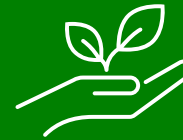
おうち需要



ギルトフリー



サステナブル



そのままに。

環境保護や社会貢献への意識が、特にZ世代を中心に強く反映された消費行動である。

フルッタフルッタのアグロフォレストリーへのコミットメントは、この倫理的消費志向を持つ消費者層に深く共鳴し、ブランド選択の重要な要素となっている。

健康への意識が高まる一方で、食事の楽しさや満足度も重視される傾向にある。

アサイーは、その豊富な栄養素と自然由来の特性から、「罪悪感なく」摂取可能な健康食品として、特に若年層や健康に配慮する消費者層から高い支持を得ている。

近年の健康食品に関する問題は、消費者の製品選択において、壊さず、加えず、そのままであることへの信頼度を一層高めている。

フルッタフルッタの商品は「ナチュラル・新鮮・おいしい・本物」をモットーとしており、この特性から有利な立場と認識される。

アサイーとヨーグルトの組み合わせを積極的に提案し、クロスセルの販売を実現させるべく、「飲む」だけでなく「食べる」目的でも家庭で簡単にアサイーを楽しめることを訴求してまいります。

いつものヨーグルトに!! #アサイーヨーグルトボウル



Day5

朝食や軽食にぴったり！
ヨーグルトにかけて、フルーツをトッピング



2025年9月、渋谷北谷公園を開催地にオープンイベント「アサイーフェス2025」を開催いたしました。
「アサイーをもっと知ってもっと好きになる」をテーマに、日常へ定着を見せるアサイーのさらなる魅力を発信しております。



SCOPE 3 Neo 本物の サステナブルを ここから。

透明性あるデータに裏付けられた原料や生産者と出会う場所。一つひとつの取引が、サステナビリティを証明する行動に。



当社の創業期から20年以上にわたりアサイーの産地であるブラジルのパラ州トメアス市の発展に貢献したことが評価され、**名誉市民の称号を授与**されました。

また、環境省が設置する、日本の気候変動への取り組みと環境技術を世界に向けて発信する**ジャパン・パビリオンで行われるセミナーに登壇**し、「森をつくる農業」と呼ばれるアグロフォレストリーの発展に貢献する当社の取り組みや、サステナブルマッチングプラットフォームについて紹介する予定です。

サステナブルソーシングが「特別な選択」ではなく「当たり前の選択」になる社会をつくるため、『SCOPE 3 Neo』の運用を通して**アグロフォレストリー栽培によるサステナブル原料の利用促進**に努めてまいります。



日本経済新聞

フルッタ、環境配慮の食品原料調達サイト CO2削減証明書も発行

2025/11/6 5:00 | 日本経済新聞 電子版



新サービスのトップページ

果物の輸入販売を手掛ける**フルッタフルッタ**は、環境に配慮して生産した食品原料の出品や購入ができる企業向けサイトを立ち上げる。環境負荷の低いアグロフォレストリー（森林農業）で生産した農作物が対象で、栄養価が高い南米産の果実「アサイー」やカカオなどを取り扱う。二酸化炭素（CO2）など温暖化ガスの削減を目指す食品企業などの利用を見込む。

サイトの名称は「SCOPE 3 NEO」。森林農業で育った食品原料を生産するブラジルの農業組合などが参画する。購入を通じて得た温暖化ガスなどの削減効果を記す証明書も発行する。長沢誠社長は「（温暖化ガス排出量を供給網全体を示す）『スコープ3』の排出量計算に活用できる」と話す。今後はブラジル以外の国で生産する業者の利用も想定する。

【関連記事】

- ・ [アサイー「元祖」フルッタのアイス、濃厚ピューレがZ世代を魅了](#)
- ・ [フルッタフルッタ、都内にアサイー商品自販機 フランチャイズ検討も](#)

※日経電子版2025年11月6日「フルッタ、環境配慮の食品原料調達サイト CO2削減証明書も発行」

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC31ABU0R31C25A0000000/>

● SCOPE 3 NEO の特徴

『SCOPE 3 Neo』は、企業に開示が義務化されていくScope3排出量を、ネットゼロだけではなく**ネットマイナスをも実現する**ために生まれました。

プラットフォームに集まるのは、「**本当に持続可能**であり、**CO2削減量が排出量と同等あるいは上回ることを証明**できる原料」です。

ISO14067 や **GHGプロトコル**といった国際基準に**準拠**し、政府の公的データや学術的な知見に裏付けられた透明な情報をもとに、バイヤーと生産者が安心して繋がれる場を提供します。



SCOPE 3 Neo の仕組み

● SCOPE 3 NEO のメリット

①CO2排出量の削減が可能

農場内の樹種が吸収したCO2量をScope3対応の「削減量」として原料に紐づけ、**原料の購入により企業のCO2排出量の削減を実現**することができます。

②生産者とメーカーをマッチング

サステナブル原料の売買を希望するメーカーと生産者のビジネス機会を創出します。

生産者にとって生産物の「売り先」があることが重要であり、**利益が農業経営を持続させる原動力**となっこそ「真のサステナブル」だと考えます。

③サステナブル原料の価値向上

グリーン調達市場を発展させていくには、**サステナブルな原料として付加価値をつけ**金銭的にも社会的にも適切に評価されることが重要です。

④PR効果、企業価値向上

『SCOPE 3 Neo』の原料を使用した製品には**CO2削減量を表示することが可能**です。

差別化やブランディング、環境貢献に関するPRができると共に、企業評価調査などに記載することで、**企業価値向上につなげる**ことができます。





前述のアサイトトレンドをとらえ拡大させることと、NEXTアサイーのポジションをそのほかアマゾンフルーツによって展開を促進することで、**売上高、各利益は過去最高**となる見通しです。

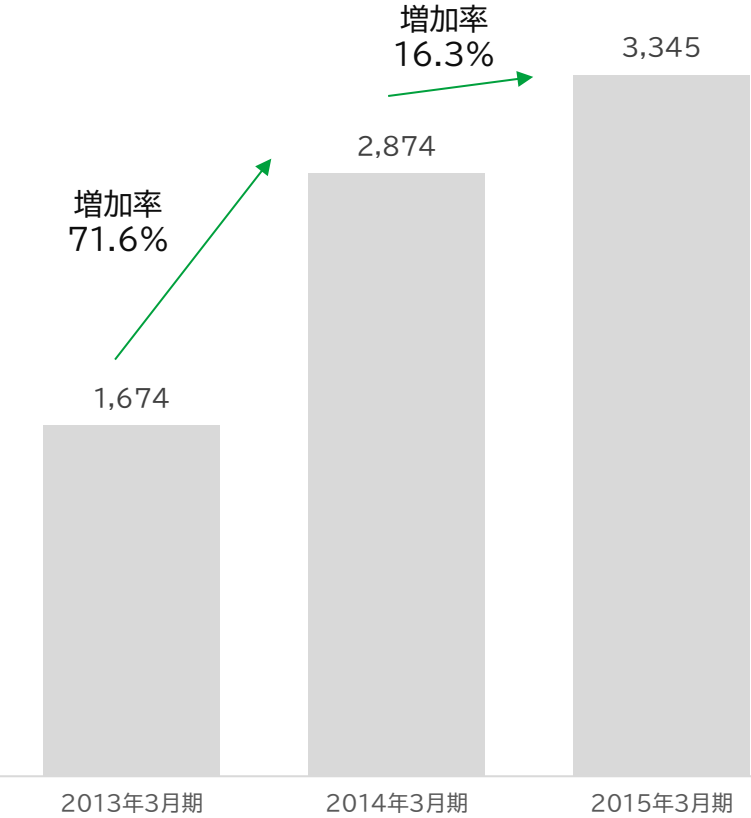
	2026年3月期 第2Q実績		2026年3月期 予想		達成率
	金額	売上比	金額	売上比	達成率
売上高	2,058	100.0%	4,000	100.0%	51.4%
営業利益	254	12.4%	400	10.0%	63.7%
経常利益	242	11.6%	370	9.3%	65.4%
当期純利益	204	9.9%	300	7.5%	68.2%

※2026年3月期第1Q実績および業績予想の当期純利益には、法人税・住民税及び事業税までを含み、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性が見込まれる部分について検討している段階であることから法人税等調整額は含みません。

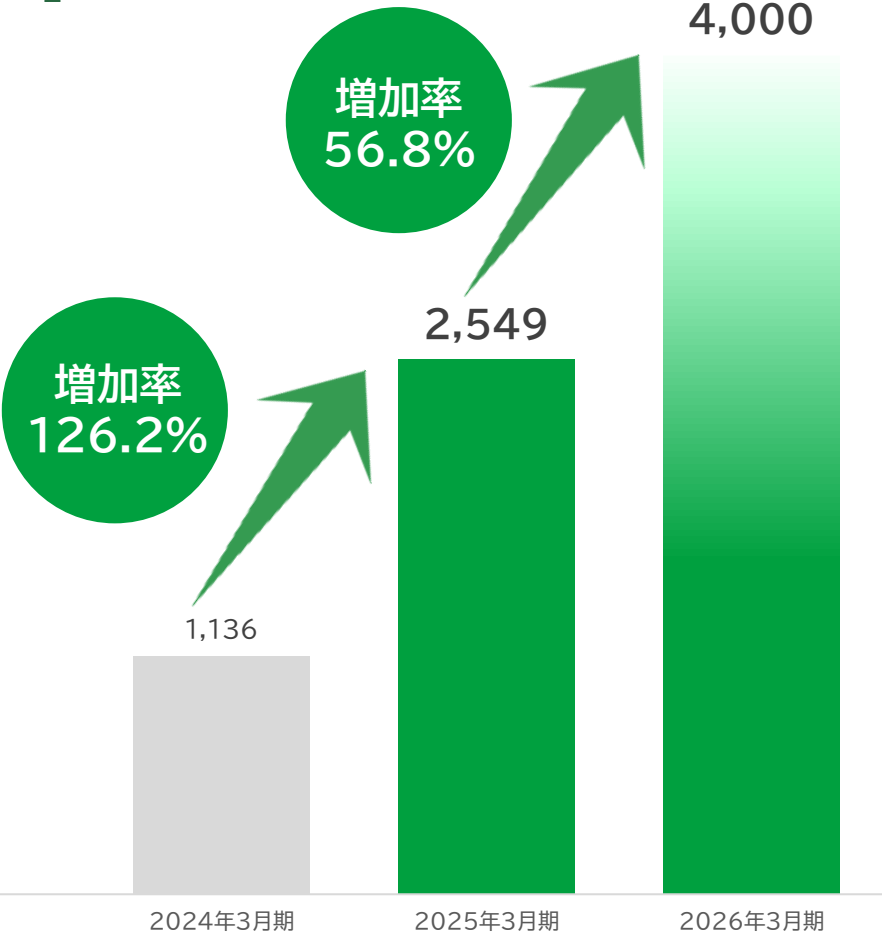


2026年3月期は引き続きトレンドをさらに拡大させ、過去トレンド期を超えるのびしろが見込まれます。
第2四半期においては売上高2,058百万円となり、達成率51.4%と現在の業績予想を引き続きとらえています。

過去トレンド期



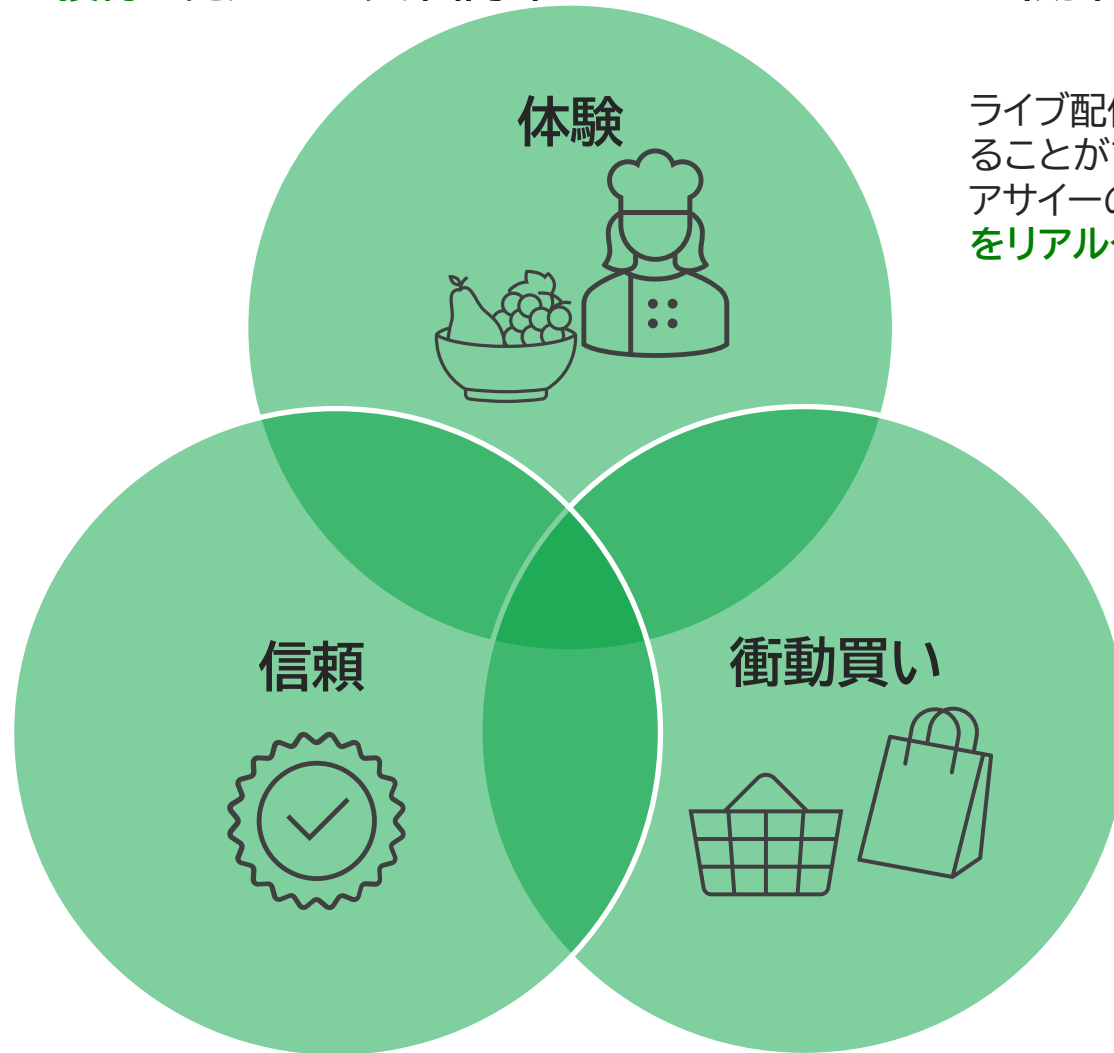
今回トレンド期



(百万円)

当社のブランド力と高付加価値商品を掛け合わせ、SNSを活用することでさらに感度高い層へアプローチし、“美容・健康”トレンドのシェア獲得を見込めます。国内外ライブコマースどちらも当期中の開始に向けて進めております。

食品の**安全性と品質**は重要。
当社の「アグロフォレストリー産のアサイーを日本に初めて輸入したパイオニア」という**ノウハウとブランド力**は、**高い信頼性**を訴求する強力な武器になります。



ライブ配信で調理、試食、アレンジの実演をすることができます。
アサイーの「手軽さ」や「美味しそうな見た目」をリアルタイムで伝えるのに最適です。

ショート動画でユーザーの潜在的なニーズを引き出し、ライブ配信で「今すぐ買う」衝動買いを誘発します。食品は、見た目のインパクトや、「今すぐ食べたい」という欲求にアプローチします。

※ライブコマースについての詳細は2025年6月19日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と越境EC協業施策開始のお知らせ～中国『TikTok(Douyin)ライブコマース』事業を共同推進へ～」及び 2025年7月30日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と「TikTok Shop」戦略開始のお知らせ～スーパーフード「アサイー」の国内販売をさらに加速～」をご参照ください。

SNSを活用してアサイーを国内・海外の両フィールドへ事業展開



国内では「TikTok Shop」、海外では「Douyin(中国版TikTok)」を主戦場にSNS・ライブコマースを展開し、「定番商品の市場定着」「新SKU・カテゴリ展開」「サブスクリプションモデル構築」といった中長期の成長ドライバーを創出することを目指します。



※詳細は2025年6月19日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と越境EC協業施策開始のお知らせ～中国『TikTok(Douyin)ライブコマース』事業を共同推進へ～」及び2025年7月30日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と『TikTok Shop』戦略開始のお知らせ～スーパーフード「アサイー」の国内販売をさらに加速～」をご参照ください。

「24時間、いつでも好きなタイミング」で「好きな商品」を購入できる、冷凍自動販売機を設置いたしました。当社の無人店舗としての役割を担い、アサイーと親和性の高い健康志向のユーザーが好む飲食店での設置や、フランチャイズとしての国内販売拡大を狙い、設置候補先との商談を進めております。

日本経済新聞 小中太 記事利用について 印刷

フルッタフルッタ、都内にアサイー商品自販機 フランチャイズ検討も

2025/7/24 17:07 | 日本経済新聞 電子版



自販機について説明するフルッタフルッタの長沢社長（24日、東京都港区）

果物の輸入販売を手掛けるフルッタフルッタは24日、栄養価が高い南米産の果実「アサイー」を使った商品の自動販売機の運営を7月末に始めると発表した。まず東京都千代田区の自社オフィスの前に1台設置する。売れ行き次第で、フランチャイズで拡大することも検討する。

※日経電子版2025年7月24日「フルッタフルッタ、都内にアサイー商品自販機 フランチャイズ検討も」
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC242D40U5A720C2000000/>

※詳細は2025年7月24日公表の「お手軽に24時間いつでもアサイーボウルを！ フルッタフルッタの冷凍自動販売機が7月末より稼働決定！」及び2025年7月30日公表の「アサイーボウルの無人店舗登場！ フルッタフルッタの冷凍自動販売機が7月30日より稼働開始」をご参照ください。

A large, faint, light gray version of the FRUTA logo is centered in the background. It features the same diamond shape with "FRUTA" text and a tropical fruit illustration.

04

中長期的な取組みの進捗

株主の皆様の日頃のご支援に感謝を形にするとともに、当社株式への投資魅力を高めること及び中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を促進することを目的として、株主優待制度(株主様専用ショッピングサイトでの割引価格での販売)を再開いたします。



● 継続保有期間/保有株式数に応じた割引率

継続保有期間/保有株式数	100株以上、1,000株未満	1,000株以上
3年未満	15%	20%
3年以上	20%	25%

配当等その他の利益還元についても継続的に検討し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

※継続保有期間は2025年9月末日を初回基準日として、以降継続保有期間の判定を開始いたします。
※詳細は2025年11月5日公表の「株主優待制度の詳細内容及び拡充に関するお知らせ」(<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2586/tdnet/2707607/00.pdf>)をご確認ください。



01 成長投資の進捗

さらなる業績拡大にむけた事業展開

日常的に家庭でアサイーを楽しむことを加速させる
施策と、国内外におけるSNSを活用した販路拡大
施策を展開してまいります。

サステナブルマッチングプラットフォーム

11月6日、ローンチを発表。
COP30のセミナー等で本プラットフォームの
認知拡大を進めてまいります。

02 調達済み金額と資金の充当状況

(単位:百万円)

資金使途	調達予定額	資金調達額	充当額	未充当額
アサイー原材料の調達 + アマゾンフルーツの調達	6,689	5,553	1,252	3,886
カカオの調達	400		343	
アサイーの普及活動及びプロモーション	150		16	
アマゾンフルーツのプロモーション、マーケティング活動	150		0	
人材確保（人件費、採用費等）	100		2	
プラットフォームの構築及び維持	250		52	
サステナブルマッチングプラットフォームのPR	100		0	
合計	7,839	5,553	1,667	3,886

(1)今後の具体的な計画やその進捗については、事業計画及び成長可能性に関する事項及び、適時開示にて開示してまいります。



03 各新株予約権行使の進捗状況 (1)

新株予約権	発行数 (個)	行使数 (個)	未行使数 (個)	行使割合 (%)
第11回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第12回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第13回新株予約権	182,400	0	182,400	—
第14回新株予約権	187,000	0	187,000	0
第15回新株予約権	187,000	187,000	0	100.0
合計	921,200	551,800	369,400	60.0

第11回新株予約権は、2024年9月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2024年9月2日公表の「第三者割当による第11回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第12回新株予約権は、2025年10月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年11月5日公表の「第三者割当による第12回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第15回新株予約権は随時行使型新株予約権であり、行使期間を2023年12月18日(当日を含む。)から2030年12月17日(当日を含む。)までとしています。また、本新株予約権は2025年2月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年2月3日公表の「第三者割当による第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

各新株予約権の詳細につきましては、2023年11月13日公表の「第11回乃至第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行、第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」、2025年6月13日公表の「資金使途の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

(1) 2025年11月12日時点

05

サステナビリティの取組み

アグロフォレストリー原料の使用を通して、累計450,000トンのCO₂削減を目指します。 (1)

フルッタフルッタでは、アグロフォレストリーの多様性栽培に関わることで、これまで経済の通例であったモノカルチャー栽培が如何に自然と逆行する手法であったかを痛感させられてきました。そして、従来の農業が自然資本を搾取する経済活動であったのに対し、アグロフォレストリーは自然資本を保全し回復させる未来型の農法といえます。

従来の資本主義に対し、限りある自然資本を中心に据えたのが「自然資本主義」です。 (2)
その生産性の改善と回復に重点を置いた新しい資本主義といえます。

私たちは、事業活動を通してアグロフォレストリーの発展に貢献していく中で、アグロフォレストリーの概念ともいえる「自然と共に生きる」を広め、この新しい経済メカニズムを日本国内及び世界に提唱し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会を実現することを目指し、上記目標設定と致しました。



(1)目標値は、中長期計画で見通している 2031 年 3 月期までの売上高(取引高)から算出したアグロフォレストリー原料の調達量に基づき、そこから得られる CO₂削減量を創業時から累計して算出しています。

なお、2025年3月末時点では 65,000tを削減している見込みです。

(2)自然資本:植物、動物、土壌、鉱物、水、大気など、自然によって形成される資源のこと

当社のサステナブルに対する活動・情報をまとめたサステナブルページを公開しております。
当社が目指す未来をはじめ、アグロフォレストリーが貢献するSDGsや、企業活動とサステナブルの関係をまとめています。



■おもな内容

- ・実現したい未来
- ・フルッタフルッタのSDGs
- ・アグロフォレストリーで実現するSDGs
- ・私たちのサステナブルアクション
- ・最新情報



本資料におけるご説明に含まれる将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や国内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社により何らかの行動を勧誘するものではありません。日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。投資のご検討にあたっては、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

株式会社フルッタフルッタ IR室

公式お問い合わせフォーム

https://www.frutafruta.com/ir_info/ircontact/

